

**FIT**  
**FIT**  
**FIT**  
**FIT**

Press Information 2010.10.8

すべてに妥協しない、理想のスモールカーをつくる。

誕生してから9年、FITは「人が中心」という

HondaのM・M思想のもと、進化を続けてきました。

スモールカーだからといって、何かをあきらめてもらう、

我慢してもらう、といったことがあってはなりません。

FITの歩む道は、資質をさらに進化させ、価値を広げていくこと。

毎日たくさんの人を使うクルマだからこそ、どんな小さなことも見過ごさず、

わずかな数値にもこだわる。気付かないところまでやり抜く。

つくり手が納得できないものは、使う人に伝わるはずがない。

開発や製造に携わる一人ひとりが、その想いを胸に取り組んできました。

**そしていま、FITはさらなる理想へ。**

# より多くの人に もっとフィットする、 もっと価値ある FITでありたい。

センタータンクレイアウトという画期的なパッケージングによる広い空間と荷室。  
多彩なシートアレンジによる使いやすさ。運転のしやすさ。走る楽しさと低燃費の両立…  
初代の誕生と同時に、それまでのスモールカーの概念を打ち破るさまざまな価値を生み出したFIT。  
その後も常に理想のスモールカーを追求しながら進化を続けてきました。  
今回のFITは、より多くの人に、毎日の暮らしに、もっとフィットする価値を提供するために、  
基本となる資質の進化と、FITがもたらす価値の拡大にこだわりました。

## 資質の進化

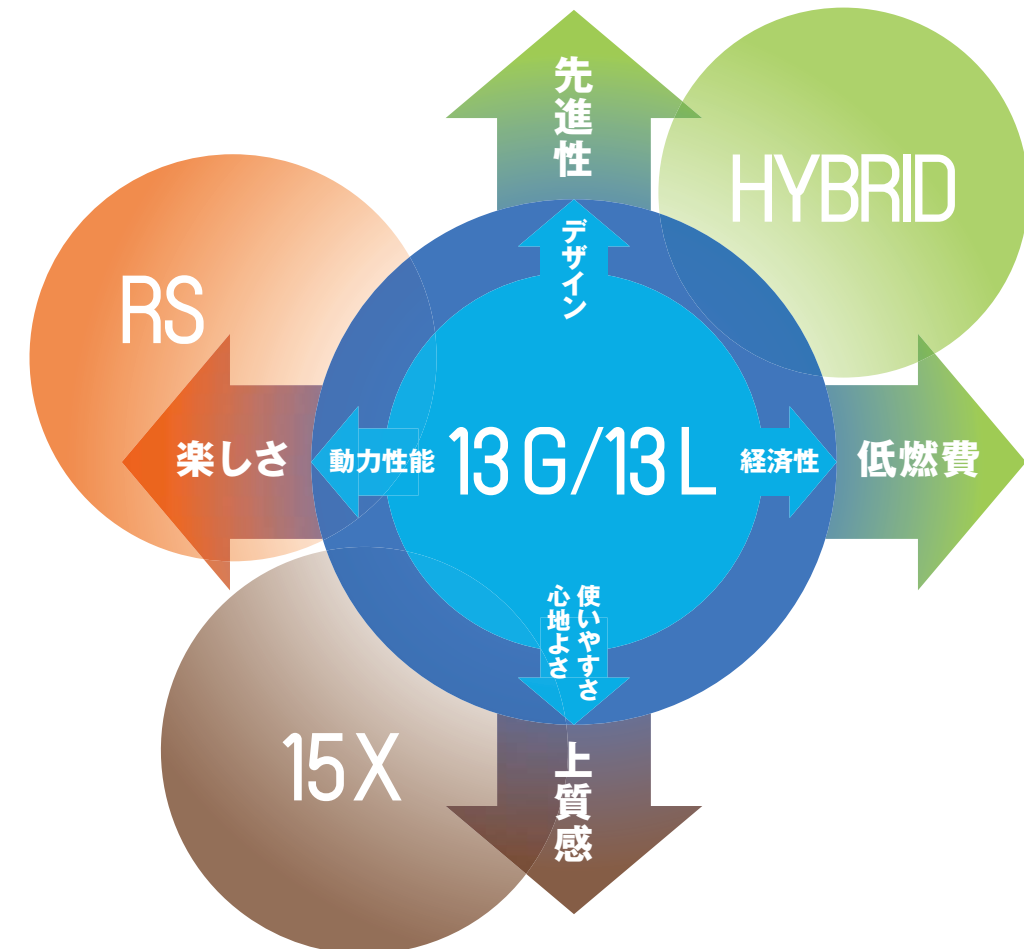
クルマの素性がはっきりと現れるベースグレードの徹底的な見直しから行いました。  
「デザイン」「経済性」「使いやすさ・心地よさ」「動力性能」を指標とし、  
従来モデルをすべて上回るレベルを目指し、細部にわたって性能や機能を追求。  
低燃費化、使いやすさの向上、乗る人のイメージを超える質感など、  
FITならではの良さをさらに進化させました。

## 価値の拡大

FITの魅力をより広げるために、多彩に、明確に、個性を強化。  
豊かさを味わえる、上級クラスの静粛性や装備を施した上質タイプと、  
軽快な走りをいっそう楽しめる6速MTを新搭載したスポーティータイプを創造しました。  
さらに、Honda独自のハイブリッドシステム  
「エンジン+IMA(インテグレートッド・モーター・アシスト)」を搭載したFIT HYBRIDを完成。  
優れたパッケージングとコンパクトなハイブリッドシステムによって、  
FITの持つ空間の広さやシートアレンジをそのまま活用できるとともに、  
30km/ℓの低燃費を達成した、スモールハイブリッドカーという新たな境地を提案します。

スモールカーを毎日使う人にも、  
スモールカーに自分のライフスタイルや価値観を求める人にも、  
低燃費や環境により高い意識を持つ人にも、  
使う人それぞれに「もっとフィットするFIT」へと成長を遂げました。

## 「資質の進化」と「価値の拡大」



# New **FIT** 登場

# 使う人の好みに応えるクルマであると同時に、 優れた環境性能を提供すること。 Hondaは、さまざまなライフスタイルに適した ハイブリッドカーを展開していきます。

Hondaは、優れた環境性能を持つクルマづくりのひとつの在り方として、1999年以来ハイブリッドカーを多機種にわたって展開しています。

近年では、インサイトにおいて、ハイブリッドカーを技術と価格の両面で特別な存在ではない身近なものへと導きました。さらには、走る楽しさを求める方に、エコとスポーツを融合させた新感覚の運転する喜びを提供するCR-Zで、新たな価値を創造しています。

Hondaは、ハイブリッドカーについてもほかのクルマと同様に、まずはそのクルマが、選択する人の用途や好みといったライフスタイルにマッチしていること、そのうえで軽量・コンパクトなハイブリッドシステムによって走行性能と優れた環境性能を両立することが大切であると考えます。

そしてこのたび、世界中の多くの人たちに、暮らしのあらゆるシーンで使っていただけるスモールカー、FITにハイブリッドシステムを搭載。日常の使い勝手や空間の広さはそのままに、モーターアシストならではの加速感がいっそう軽快な走りをもたらすと同時に、30km/ℓの低燃費を達成するなど、より多くの人に身近で使いやすいスモールハイブリッドカーを実現しました。

Hondaは、FIT HYBRIDの誕生によりハイブリッドシリーズをさらに充実させ、使う人のライフスタイルに応じて選択していただけるよう、フォーメーションを拡大。今後も、Honda独自のパッケージング技術とハイブリッドシステムの利点を活かした機種をはじめ、多種多様なハイブリッドカーを展開し、さまざまな人の要望に応じていきます。また、環境負荷の少ないクルマづくりを幅広く進めていくことで、低炭素社会へのさらなる貢献を目指します。

## Hondaのハイブリッドカー展開



# 13G/13L

スモールカーのベンチマークであり続けるために「もっと」の声に応え、細部まで多くの改良を施しました。

## デザインの変更 P09

■デザインの洗練と徹底的な低燃費化のために、エクステリアの各所を改良しました。

## 燃費の向上 P10

■燃費を可能な限りよくするために、ピストンからエンジンを見直し、CVTも効率向上を徹底。燃費性能を24.5km/ℓ<sup>\*1\*2</sup>に向上しました。  
■より経済的に走っていただくために、省エネ運転を支援するECONモードを採用しました。

## 使い勝手の向上 P11

■各部の操作性や視認性を検証し、より使いやすくなり改良しました。  
■もっと便利に快適に使っていただけるよう、機能性に優れた装備を採用しました。

## 運転操作性の向上 P12

■ステアリングやパーキングブレーキの操作性を向上しました。

## 先進装備の充実 P12

■Hondaスマートパーキングアシストシステム、バックモニター付オーディオを設定しました。

# HYBRID

FITならではのパッケージングを活かした広く、使いやすく、環境性能に優れたFIT HYBRID誕生です。

## パッケージング P13

■センタータンクレイアウトと軽量・コンパクトなIMAで、FITの誇る居住性、積載性、シートアレンジをそのまま活かしました。

## HYBRID専用デザイン P14・17

■エクステリア、インテリアともに、先進&クリーンなイメージを持たせました。

## Hondaハイブリッドシステム P15

■「1.3ℓ i-VTECエンジン+IMA」を採用し、30.0km/ℓ<sup>\*1</sup>の燃費性能と軽快で力のある走りを両立しました。

## HYBRID専用シャーシ/ボディ P15

■走行抵抗を徹底して減らし、燃費性能をハイブリッド専用設計のインサイト同等まで引き上げました。  
■優れた操縦安定性と乗り心地を実現しながら低燃費に貢献するために、足回りとボディを専用設計しました。

## FIT専用IMAセッティング P16

■街乗りに適した、FITにベストマッチなIMAセッティングとしました。

## 優れた静粛性 P16

■ハイブリッドの特性を活かしながら、静粛性を追求しました。

## エコアシスト P17

■低燃費運転を楽しく支援する機能、エコアシストを装備しました。

## HYBRID専用ナビシステム P18

■HYBRID専用で、Honda HDDインターナビシステム+リンクアップフリー+インターナビ・ルートを設定しました。

# 15X

スモールであっても上質感が欲しいという声に応えます。

## 15X専用デザイン P19

■エクステリア、インテリアともに、上質で落ち着いた質感を持たせました。

## 15X専用装備 P20

■上級クラスからの乗り換えでも満足していただけるよう快適装備を充実させました。

## 走りと静粛性 P20

■静粛性と燃費に有利になるようにCVTの変速特性を変更しました。  
■中型セダンクラスの静粛性を目指し、防音処理を強化しました。

# RS

ドライビングを存分に楽しみたい人のために、走りデザインをいっそうダイナミックに磨き上げました。

## RS専用スポーティーデザイン P21

■走りのよさがひと目でわかるダイナミックなエクステリア、スポーティーなインテリアに仕上げました。

## ダイナミックな走り P22

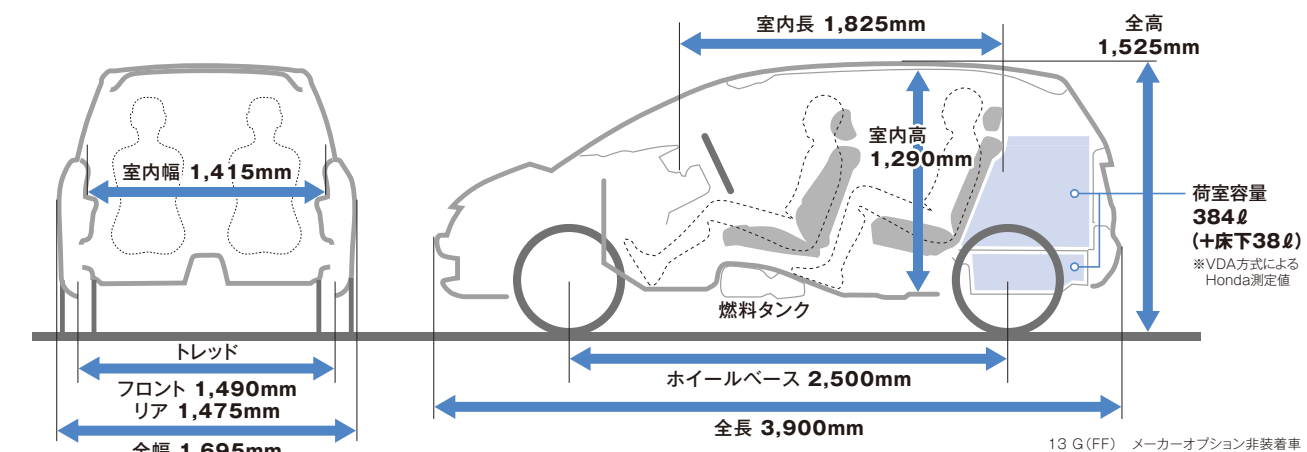
■クラス<sup>\*3</sup>唯一の6速MTを新採用しました。  
■より力強い加速感を得るために、DBW設定を見直しました。  
■高いコーナリング性能を得るために、サスペンションを強化しました。  
■スポーティーなハンドリングにこだわり、EPS制御を専用セッティングしました。  
■スポーティーサウンドを追求し、加速時のエンジン音と排気音をチューニングしました。

## スモールカーの概念を変えたパッケージング・テクノロジー。

### 高効率なパッケージングがもたらすFIT定評の広い室内と低床・大容量ラゲッジスペース。

センタータンクレイアウトを核に、エンジンやサスペンションなどのメカニズムをコンパクトに設計・配置した、Honda独自の高効率なパッケージング技術。これによりFITは、取り回しのよいコン

パクトなボディの中に、スモールカーとは思えないほどの広々とした室内と低床で大容量のラゲッジスペースを実現しました。



### 多彩なシートアレンジ、ULTR SEAT (ウルトラシート) が生み出す優れた使い勝手。

フロントシート下に燃料タンクを配置するセンタータンクレイアウト。それによって生み出されたリアシート下のスペースを活用した多彩なシートアレンジが、空間の使い勝手を大きく広げます。リアシートはワンアクションで背もたれがたたみこまれながら足元スペースに収納。ラゲッジスペースが低くフラットに広がります。また、リアシートの座面を跳ね上げると高さ1,280mm\*の空間が出現します。\*スカイルーフ装着車は1,255mm Honda測定値



#### ULTR SEAT Utility mode



ユーティリティ・モード  
リアシートをタイプダウンさせると、低く広いフルフラット空間。

#### ULTR SEAT Long mode



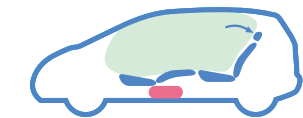
ロング・モード  
ユーティリティ・モードに加え、助手席をフルリクライニングさせると長尺物に対応。

#### ULTR SEAT Tall mode



トール・モード  
リアシートをチップアップさせると、高さのある荷物に対応。

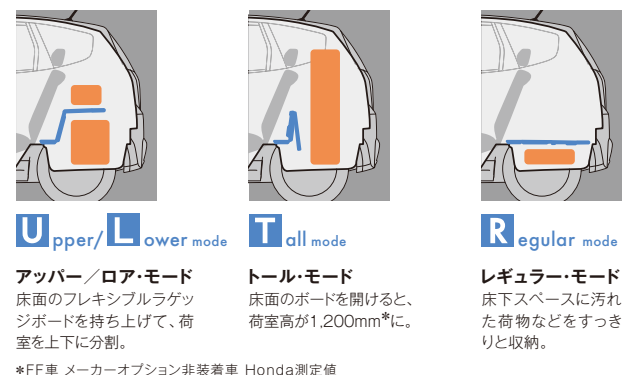
#### ULTR SEAT Refresh mode



リフレッシュ・モード  
フロントシートのヘッドレストを外してフルリクライニングさせると、足を伸ばせる空間に。

### 荷室もアレンジ多彩。

#### ULTR LUGGAGE (ウルトララゲッジ)。(タイプ別設定)



### スモールカーならではの運転のしやすさ。

広い空間を生み出すロングホイールベース&ワイドトレッドながら、最小回転半径は4.7m\*を実現。低速時には軽い操作感のEPS(電動パワーステアリング)と合わせ、優れた取り回し性を獲得しています。



\*1 10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値) \*2 13G(FF(CVT)) 装着するメーカーオプションによっては異なる場合があります。 \*3 1.5ℓクラス ハイブリッド車を除く(2010年10月現在 Honda調べ) 装備はタイプにより設定が異なります。詳しくは装備表をご確認ください。

# 13G/13L

スモールカーのベンチマークであり続けるために「もっと」の声に応え、細部まで多くの改良を施しました。

## デザインの変更

デザインの洗練と徹底的な低燃費化のためにエクステリアの各所を改良しました。

精緻なメッシュデザインのフロントグリルとシルバー塗装&マットブラックガーニッシュのヘッドライトが、端正な表情を演出



紺碧の空をイメージした鮮やかながらも上品な輝きを放つアズールブルー・メタリックを新設定

張り出したバンパー下部形状やホイールハウスを強調した造形により、ワイド感を強調

立体感のあるスポーク形状で軽快感を表現する7本スポークのフルホイールキャップ

クリアと赤のレンズによるコントラストがより軽快なリアスタイルを演出

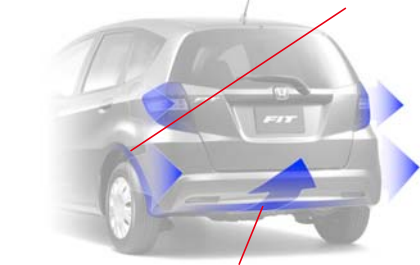
## 空力性能を向上。

フロントフェンダーと前後バンパーを空気に優れた形状に変更。ホイールアーチ部のエッジを立てさせてサイドへの空気の流れをスムーズにするなど、空力性能を向上。



最小限に抑えた開口部

エッジの立ったホイールアーチ



ボディ下面の風をスムーズに流すディフューザー形状



Photo:13 G-スマート セレクション (FF (CVT)) ボディカラーはアズールブルー・メタリック

横基調のリアリフレクターをバンパー下部に配し低重心イメージとワイド感を強調



従来モデル G-スマート セレクション

## 燃費の向上

燃費を可能な限りよくするために、ピストンからエンジンを見直しました。

従来モデルで達成したクラス\*1トップレベルの燃費性能をさらに引き上げるために、ピストンまわりをはじめ細部まで改良。その結果、24.5km/ℓ\*2の燃費性能を達成しています。

\*1 1.3ℓクラス ハイブリッド車を除く Honda調べ  
\*2 10・15モード走行燃料消費率 (国土交通省審査値)

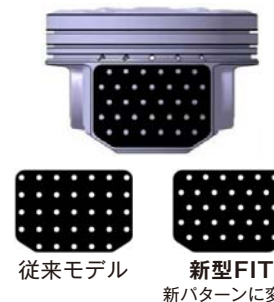


## ピストンとシリンダーのフリクションを低減。

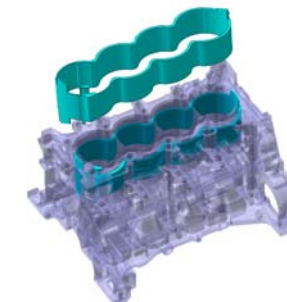
ピストンスカートの表面コーティングにドット状のパターンを施したピストンパターンコーティング。そのパターン配置を変更し、オイル保持性を向上しました。さらにCVT車は、冷却水の流路であるウォータージャケット

トにスパーサーを追加し、熱間時のピストンクリアランスを最適に確保したほか、低張力オイルリングやテフロンコーティングを施したクランクシャフトオイルシールを採用。徹底してフリクションを低減しています。

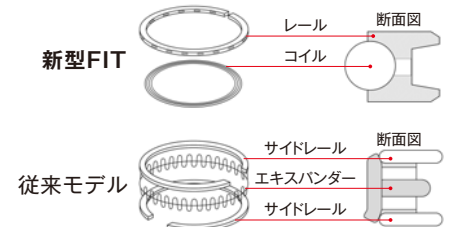
### ■ピストンパターンコーティング



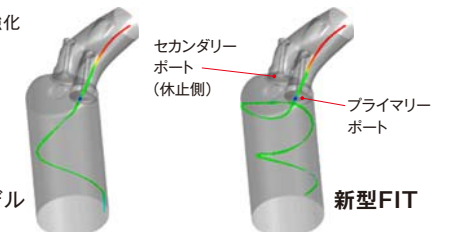
### ■ウォータージャケットスパーサー



### ■低張力オイルリング



### ■スワール強化



## 燃焼効率を向上。

シリンダーヘッドの吸気ポート形状を変更。1気筒あたり2つあるポートをそれぞれ異なる形状にしてスワールを強化。シリンダー内の混合気分布を最適化し、燃焼を安定化させることで、より多くのEGR (排気ガス再循環) 導入を可能としています。

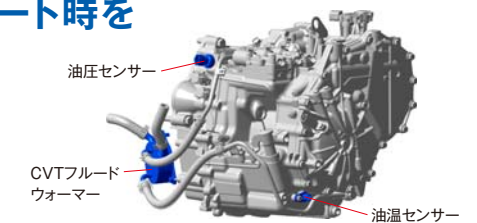
### ■1.3ℓ i-VTECエンジン性能

CVT車	最高出力(ネット値)	最大トルク(ネット値)	5MT車	最高出力(ネット値)	最大トルク(ネット値)
	73kW[99PS]/6,000rpm	126N・m[12.8kgf・m]/4,800rpm	5AT車	73kW[100PS]/6,000rpm	127N・m[13.0kgf・m]/4,800rpm

「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。

## オールシーズンで低燃費であるために、コールドスタート時をはじめとしたCVTの効率向上を徹底しました。

CVTフルードウォーマーを採用し、フルードの暖機時間を短縮。コールドスタート時の攪拌(かくはん)抵抗を低減しました。さらに、油圧センサーを採用してプーリーがベルトを押しつける側圧制御を最適化し、油温センサーの採用によりロックアップ制御を高精度化。走行状況に応じた、よりきめ細かな制御を実現したことで燃費向上に貢献しています。



## より経済的に走っていただくために

## 省エネ運転を支援するECONモードを採用しました。(タイプ別設定)

インストルメントパネルに設置したECONスイッチを押すと、エンジンではスロットルバルブ開度を抑えるようにDBW(ドライブ・バイ・ワイヤ)を制御。CVTやATはエンジン回転数を低く抑える変速設定となり、エアコンも省エネ運転となります。これらによって、より実用燃費に優れた走行をサポートします。なお、15 Xに装備したクルーズコントロールもECONモード時には省エネ運転となります。



## 使い勝手の向上

### インナーハンドルロックノブに突起を設けより確実な施錠・解錠ができるようにしました。

ロックノブの施錠側と解錠側それぞれに異なる突起形状を設けることで、触れたときに位置をわかりやすくしました。また、施錠側は4本の円弧形状として指をかけやすく、解錠側は3つのドット形状ですべりにくくしています。



### 視認性と質感を高めるために

#### 照明の色を統一しました。(13 G/13 L, 15 X, RS)

メーターやスイッチ類の照明および、インフォメーションディスプレイ、オートエアコンなどの液晶背景色をアンバーに統一することで、情報の読み取りやすさと質感を向上しています。



### エアコン操作がよりわかりやすく行えるように、表示の仕方を改めました。

マニュアルエアコンは、風量調節ダイヤル表示を、見やすい上側に移動するとともにポジション目印を着色して目立たせました。オートエアコンは、吹き出しモードスイッチにアイコン表示を追加。液晶表示部

は、フルオート作動時にもファン風量と吹き出しモードを常時表示するようにしました。さらに、エアコンOFFスイッチにON機能を追加し、ONにしたときに前回の設定に復帰するようにしています。

#### ●マニュアルエアコン



従来モデル 新型FIT  
表示を見やすく配置し目印を着色

#### ●オートエアコン



従来モデル 新型FIT  
風量とモードを常時表示



従来モデル 新型FIT  
ON機能を追加  
従来モデル 新型FIT  
アイコン表示を追加

### もっと便利に、もっと快適に使っていただけるよう機能性に優れた装備を採用しました。

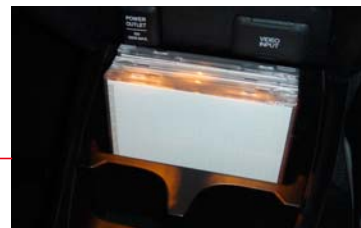


シートカラーはブラック×ブルーに加え、ページュを設定

Photo:13 L (FF) インテリアカラーはブラック×ブルー



エアコン風による温度調整機能を備えたアッパーグローブボックスを採用(タイプ別設定)



フロントコンソールボックスはスマートフォンに連動する照明を追加し、CDケースが4枚収納できる形状に変更

### 荷室の床下スペースに買物袋を収納する人が多いと知り、安定して置ける構造に変更しました。(13 G, RS)

前後方向だった間仕切りを左右方向に変更。折りたたみ式のラゲッジボードは、後ろ側の収納スペース部分だけを開けられ、より手軽に使えるようにしています。



新型FIT

Photo:13 G (FF) ラゲッジボード

### セルフ式ガソリンスタンドを利用する人のために、フューエルリッド開閉音を付けました。

プッシュリフターを変更し、フューエルリッドを押したときに「カチッ」と音が鳴り、開いたことが明確にわかるようにしました。閉めたときにも音が鳴り、より確かな操作感が得られます。また、プッシュリフターの荷重設定を調整し、より開けやすく改良しています。

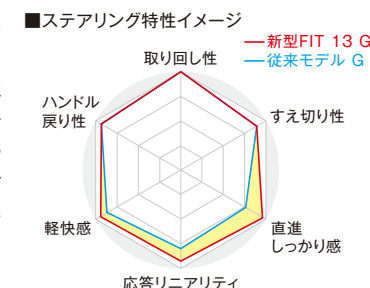


プッシュリフター

## 運転操作性の向上

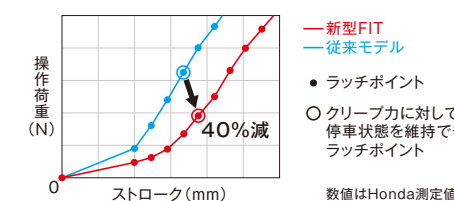
### 低速走行での扱いやすさはそのままに、高速走行でのステアリング操作のしっかり感を高めました。

EPS制御を車速に応じてきめ細かくチューニング。すえ切り操作など低速走行時の軽さはそのままに、高速走行時における直進でのしっかり感やコーナリングでのリニア感などを向上し、安心感のあるステアフィールを獲得しています。



### 常用域でパーキングブレーキが軽く引けるようにストローク設定を見直しました。

パーキングブレーキレバーの引き始めに、てこの効果が最大になるようにストローク設定を変更。クリープ力に対して停車状態を維持するためのブレーキ力をより軽い操作力(約40%低減)で発生できます。



## 先進装備の充実

### 駐車が苦手な人のために、Hondaスマートパーキングアシストシステムを用意しました。(タイプ別メーカーオプション)

駐車時の運転操作を音声でガイドし、ステアリングが自動操舵することで、スムーズな駐車を支援するシステム。バック駐車(左右)、縦列駐車(左)に対応します。ライフ(2010年モデル)に採用したシステムに対して、作動可能車速を高く設定\*し、音声ガイドのタイミングを改良することで、よりスムーズな駐車を可能としています。\*前進10km/h、後退7km/hまで対応



ステアリングが自動的に回り、駐車をアシスト

### バック時の視界をサポートするバックモニター付オーディオを用意。USBジャックや、ステアリングホイールにリモコンも装備されます。(タイプ別メーカーオプション)

オーディオに4.3インチの液晶カラーモニターを装備。バック時に車両後方を映すほか、オーディオ画面やアナログ時計なども表示できます。さらに、USBジャックを備え、音楽ファイルを保存したUSBメモリーや携帯オーディオプレーヤー\*などを接続可能。オーディオリモートコントロールスイッチも装備されます。\*一部のデジタルオーディオには対応できないものがあります。



USBジャック



オーディオリモートコントロール(照明付)



バックモニター付オーディオ+USBジャック



外部オーディオ表示 アナログ時計表示

- 4.3インチカラー液晶モニター
- カラーリアカメラ
- オーディオリモートコントロール
- CDプレーヤー
- AM/FMチューナー
- iPod®対応USBジャック
- 全画面時計表示
- 外部モニター接続
- AV入力端子
- 4スピーカー\*

\*スピーカー数は標準装備のスピーカー数との合計です。■iPod®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。メーター類は撮影のため点灯 小物類は撮影のために用意したものです 画面はハメコミ合成

# HYBRID

FITならではのパッケージングを活かした、広く  
使いやすく、環境性能に優れた、FIT HYBRID誕生です。

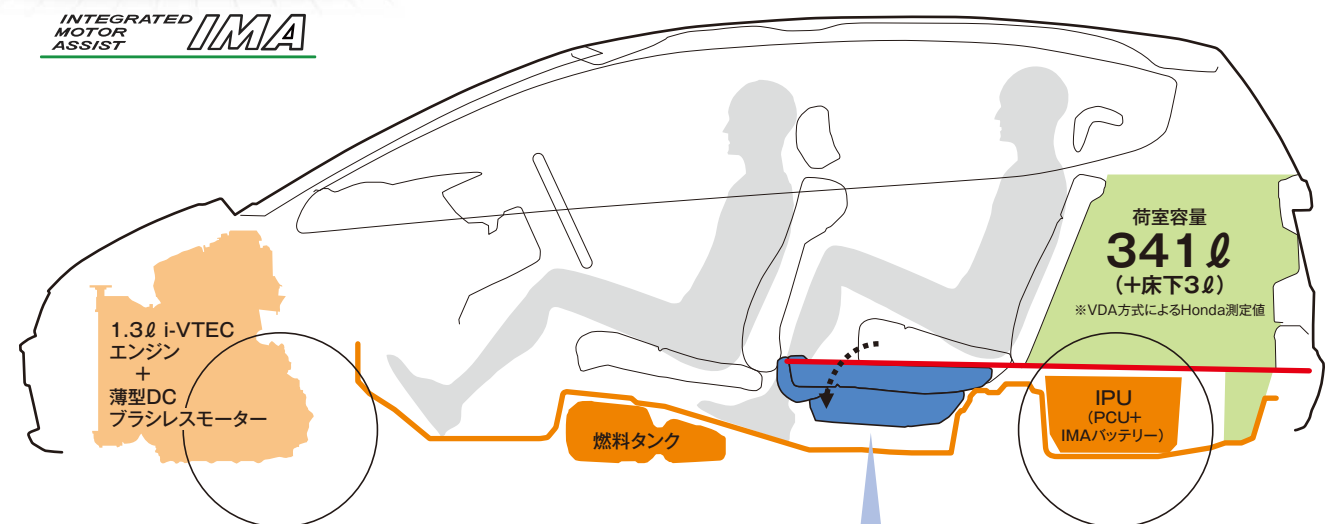
## パッケージング

FITだから、IMAだから、みんなに使いやすいハイブリッドカーができました。



INTEGRATED MOTOR ASSIST IMA

センタータンクレイアウトをはじめとした高効率なパッケージングによって、取り回しのしやすいコンパクトなボディでありながら広い空間と優れた使い勝手を備えたFITに、シンプルな構成で軽量・コンパクトなIMA（インテグレートッド・モーター・アシスト）を搭載。IPU（PCU+IMAバッテリー）を荷室床下にすっきりと収め、FITならではの居住性やシートアレンジ、積載性といった優れた特長をそのまま備えた、もっとも身近なハイブリッドカーを完成しました。



ベースグレード同様に行える多彩なシートアレンジ

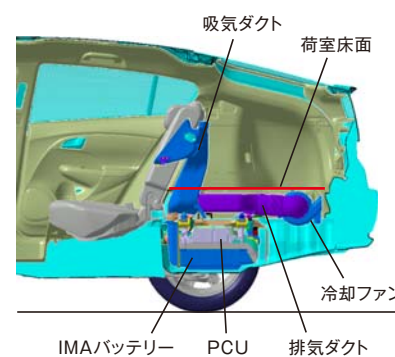
センタータンクレイアウトが生んだFITならではの多彩なシートアレンジ、ULTR SEAT（ウルトラシート）。リアシートのダイブダウンによる低く広いフルフラット空間のユーティリティ・モードなど、ベースグレード同様のシートアレンジが可能です。

ベースグレード同等の積載性とシートアレンジを守り抜くために IPUまわりをいっそうコンパクトに配置しました。

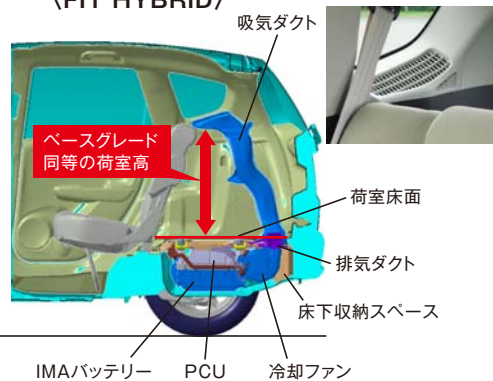
インサイトやCR-Z同様にPCUとIMAバッテリーを2段重ねにして荷室床下に配置。FIT HYBRIDではさらに冷却構造を見直し、冷却ファンや排気ダクトをIPUの後方に配置。吸気ダクトもライニング内にすっきりと収めました。これによりベースグレード同様

に床面の低い荷室を実現。スーツケースや自転車などをベースグレード同様に積載できます。また、荷室後方の床下に三角表示板などを収納できるスペースも設けています。

〈インサイト(2009年モデル)〉



〈FIT HYBRID〉



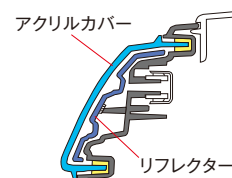
## HYBRID専用デザイン

ハイブリッドカーらしい先進&クリーンなイメージを表現しました。

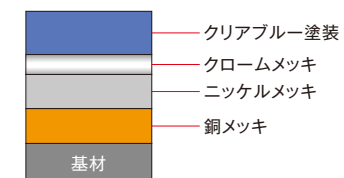


メッキにクリアブルー塗装を施し、アクリルカバーを合わせた未来感ある専用デザインのフロントグリル

■フロントグリル構造



■リフレクター構成



彫りの深い造形でスポークを長く見せる15インチアルミホイール(タイプ別設定)

クロームメッキのリアライセンスガーニッシュ

HYBRIDエンブレム



メッキ&クリアブルー塗装のリアコンビネーションランプ

Photo:HYBRID  
ボディカラーはフレッシュライム・メタリック



## Hondaハイブリッドシステム

高水準の環境性能と軽快で力のある走りを両立するために「1.3ℓ i-VTECエンジン+IMA」を採用。優れた前後重量バランスも獲得しています。

「主動力のエンジン」に「補助動力のモーター」を組み合わせたHonda独自のハイブリッドシステム。エンジンには、減速時に全気筒のバルブ作動を休止することでポンピングロスを低減し、電力回生効率を高めるVCM\*1を備えた、1.3ℓ i-VTECエンジンを採用。これに、軽量コンパクト・高効率なIMAを組み合わせて、30.0km/ℓ\*2の低燃費を達成。同時に、低速域から強力なトルクを発揮するモーターアシストと軽量ボディによって、力強い走りも実現しています。また、IPUを荷室床下に配置することで前後63:37の重量配分も獲得しています。

\*1 バリアブルバルブタイミング  
\*2 10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)

### ■1.3ℓ i-VTECエンジン+IMA性能

#### 1.3ℓ i-VTECエンジン

最高出力(ネット値)  
65kW[88PS]/5,800rpm  
最大トルク(ネット値)  
121N・m[12.3kgf・m]/4,500rpm

#### モーター

最高出力  
10kW[14PS]/1,500rpm  
最大トルク  
78N・m[8.0kgf・m]/1,000rpm  
\*エンジン始動時92N・m[9.4kgf・m]/500rpm

#### エンジン+モーター

最高出力  
72kW[98PS]/5,800rpm  
最大トルク  
167N・m[17.0kgf・m]/1,000~1,500rpm  
Honda測定値

10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)

# 30.0km/ℓ

JCO8モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)

# 26.0km/ℓ

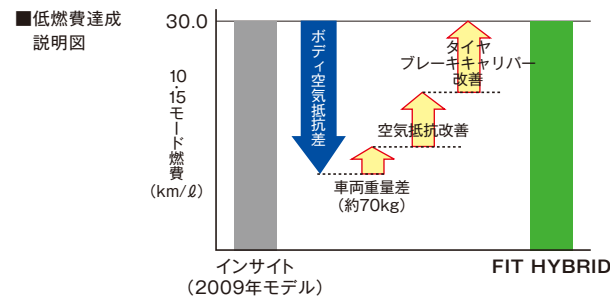
「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。

## HYBRID専用シャーシ／ボディ

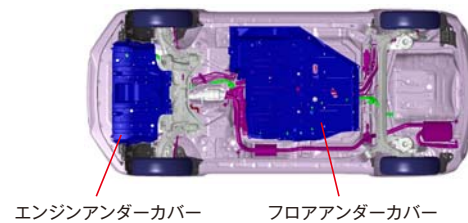
IMAの搭載に加え、走行抵抗を徹底して減らすことで、30.0km/ℓ\*を達成しました。

ハイブリッド専用設計のインサイトに対し、高いユーティリティを持ち、全長の短いFITのボディ形状は空気で不利となり、IMAを搭載しただけではインサイト同等の燃費性能を達成できないため、徹底して走行抵抗を減らしました。より転がり抵抗が小さい専用タイヤに加え、

ブレーキ非作動時の回転抵抗を低減するフロントブレーキキャリアバーを採用。また、エンジンアンダーカバー、フロアアンダーカバーの採用によって空気抵抗を低減。これらにより、30.0km/ℓ\*の燃費性能を達成しています。\*10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)



### ■ボディ下面空力パーツ配置図

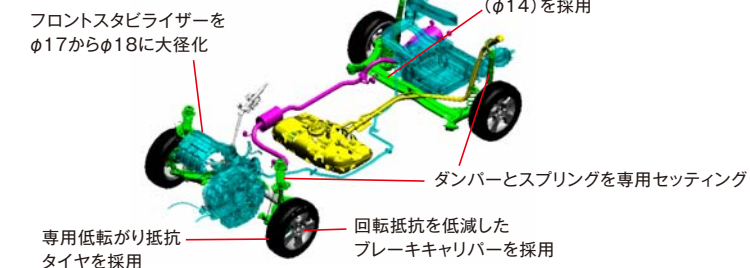


優れた操縦安定性と乗り心地を実現しながら低燃費に貢献するために足回りとボディを専用設計しました。

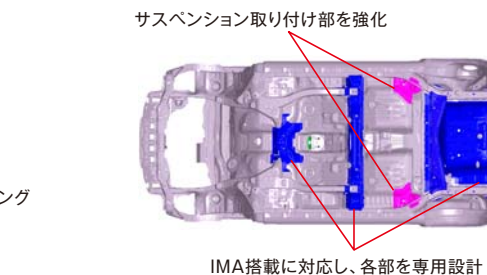
IMAの搭載による前後重量バランスの変化や、低燃費に貢献する低転がり抵抗タイヤの採用を考慮し、足回りを専用設計。フロントスタビライザーをベースグレードに対して大径化するとともにリアスタビライザーを採用。ダンパーとスプリングも専用セッティングとし

ました。また、ボディにおいては、リアサスペンション取り付け部を強化して操縦安定性と乗り心地を両立したほか、IPUを搭載するラゲッジフロアをはじめ、各部を専用設計としています。

### ■シャーシ説明図



### ■ボディ説明図



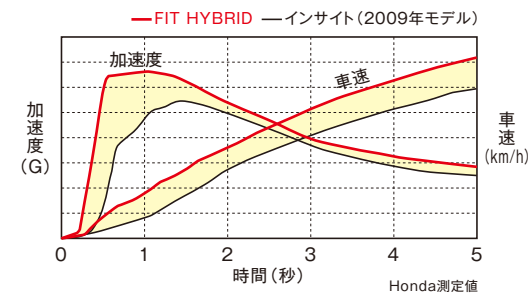
## FIT専用IMAセッティング

街乗りに適した、FITにベストマッチなセッティングとしました。

モーターアシスト量を増加して発進性能を高めました。

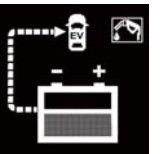
特に街中で多用されるアクセルペダル開度におけるモーターアシスト量を、インサイトに対して増加。軽やかな車体と合わせ、力強い発進加速性能を実現しています。

### ■アクセルペダル2/8開度時の発進加速比較イメージ



モーターのみでの走行領域を拡大しました。

車両重量の軽さを活かし、低速クルーズ時にモーターのみで走行できる領域をインサイトに対して拡大しました。また、マルチインフォメーション・ディスプレイのエネルギーフロー画面に「EV」と表示することで、モーターのみでの走行であることを、わかりやすくしました。



アイドリングストップをしやすくしました。

ECONモード時にアイドリングストップをしやすくし、燃料消費をより少なくしています。また、アイドリングストップ中に窓が曇ったときなど、デフロスタースイッチをONにした際にはエンジンを自動始動する設定としました。

### ■Hondaハイブリッドシステム作動イメージ

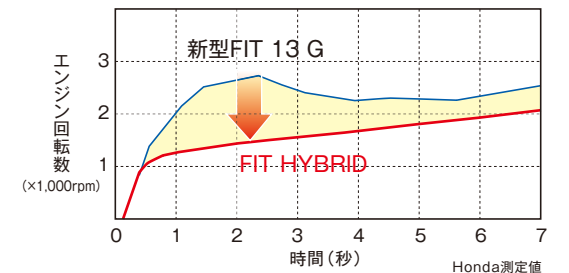
走行状態	始動(アイドリング)	発進加速	低速クルーズ	減速	停車
システム作動状態	バルブ駆動	バルブ駆動 モーターアシスト	バルブ休止 モーター走行	バルブ休止 電力回生	アイドリング ストップ
エネルギーフロー					

## 優れた静粛性

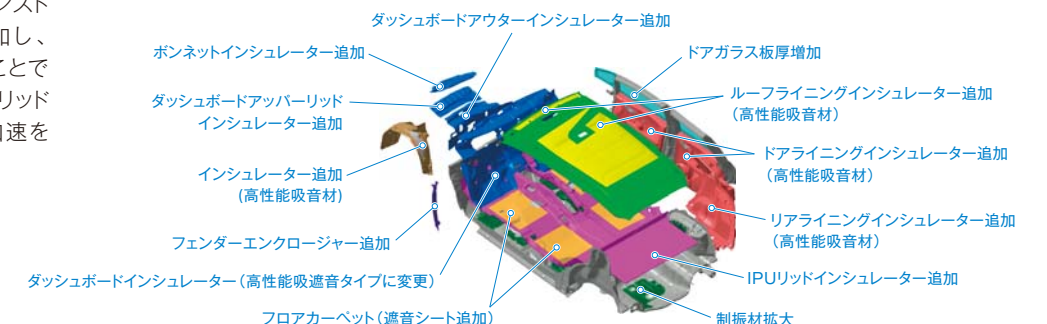
ハイブリッドの特性を活かしながら静粛性を追求しました。

ボディ骨格を専用設計したうえで、ベースグレードに対して防音材を追加し、優れた静粛性を獲得しました。また、発進時のモーターアシスト量をインサイトに対して増加し、エンジン回転数を低くできたことでエンジンノイズを抑制。ハイブリッドカーならではの静かな発進加速を実現しています。

### ■アクセルペダル2/8開度での発進加速時エンジン回転数比較



### ■吸音・遮音対策説明図(13Gに対する追加・変更箇所)



## HYBRID専用デザイン

インテリアにも先進&クリーンイメージを持たせました。

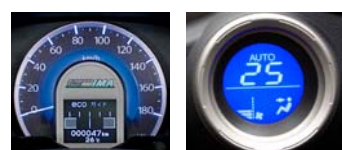


Photo:HYBRID インテリアカラーはベージュ

シートはセンター部に繊細な肌触りの起毛メッシュファブリック、サイド部にスウェード調ファブリックを採用した専用タイプ。シートカラーはベージュとブラックを設定。

### 照明色をブルーに統一。

メーター照明と各種液晶背景色をブルーに統一し、先進イメージを強調しています。

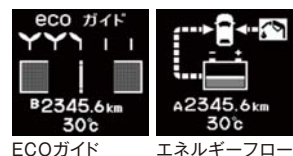


## ハイブリッドシステムのさまざまな情報をわかりやすく表示する専用メーターを採用しました。

スピードメーターの中央部にマルチインフォメーション・ディスプレイを装備し、右側のメーターにモーターアシスト/チャージ表示を設置。また、照明色の変化によってドライバーにエコドライブ度をリアルタイムで知らせるアンビエントメーターを備えています。

### マルチインフォメーション・ディスプレイ

低燃費運転の状況を表示するECOガイドをはじめ、さまざまな情報を切り替え表示します。



アンビエントメーター モーターアシスト/チャージ表示



マルチインフォメーション・ディスプレイ

## エコアシスト

### 低燃費運転を楽しく支援する機能、エコアシストを装備しました。

ドライバーの運転による、さらなる低燃費走行を実現するために、エンジンやトランスミッションなどを燃費優先に制御する「ECONモード」や、エコ運転度をリアルタイムに把握できる「コーチング機能」、エコ運転度を採点・アドバイスする「ティーチング機能」を採用。ドライバーの技術や意識による低燃費運転を支援します。

機能、エコ運転度を採点・アドバイスする「ティーチング機能」を採用。ドライバーの技術や意識による低燃費運転を支援します。

\*アドバイス機能はHonda HDDインターナビシステム装着車のみ

### ECONモード

パワートレインなどを燃費優先に制御



エンジンの出力制御

CVTの変速比制御

エアコンの省エネ運転

アイドリングストップ領域の拡大

IMAの回生量増加

### コーチング機能

エコ運転度をリアルタイムに表示

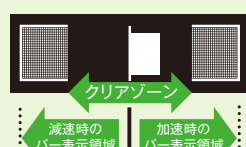
#### ●アンビエントメーター



理想的な低燃費走行に近くなるほど、照明色がブルーからグリーンに変化

#### ●エコドライブパー

加速・減速の状況をリアルタイム表示。クリアゾーンにパーが収めればエコ運転



### ティーチング機能

エコ運転度を採点・アドバイス

#### ●ECOスコア

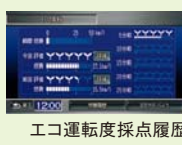
リーフ(葉)のアイコンでスコア表示。スコアを積み重ねるにつれてステージが3段階でアップ



#### ●アドバイス機能

(Honda HDDインターナビシステム装着車)

ナビ画面に、エコ運転度採点の履歴や採点内容の詳細、燃費向上アドバイスなどを表示



メーター類は撮影のため点灯

## HYBRID専用ナビシステム

### Honda HDDインターナビシステム+リンクアップフリー 専用通信機器+通信費無料\* (タイプ別設定)

タッチパネル式の7インチワイドディスプレイにHDDを採用した最新鋭のナビゲーションシステム。リンクアップフリーに対応した専用通信機器を備えたほか、ナビゲーションに連動するETC機能\*1も採用。オーディオ&ビジュアル機能も充実しています。さらに、ティーチング機能(アドバイス機能)でエコドライブもサポートします。



ナビゲーション機能	7インチワイドディスプレイ	タッチパネル	VICS*2FM多重レシーバー	カラーリアカメラ	リンクアップフリー専用通信機器	ナビゲーション連動ETC*1	Bluetooth®対応ハンズフリーテレホン*3	ティーチング機能
オーディオ&ビジュアル機能	サウンドコンテナ	オーディオリモートコントロール+音声認識	TV(ワンセグ)	DVD/CDプレーヤー	AM/FMチューナー	AV入力端子	4スピーカー*4	

\*1 HYBRID-ナビプレミアムセレクション \*2 VICSは、全国主要都市および全国の主要高速道路でサービスされており、順次サービスエリアが拡大されています。\*3 一部の機種ではご利用にならない場合があります。\*4 スピーカー数は標準装備のスピーカー数との合計です。●テレビ映像、DVDビデオ再生映像等は停車時にパーキングブレーキをかけなければなりません。走行中は安全のため音声のみとなります。●走行中は細街路の表示およびタッチパネルによる操作が制限されます。■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

## internavi Premium Club (入会金/年会費不要) <http://www.honda.co.jp/internavi/>

### より多くの人に選んでいただけるFIT HYBRIDだからこそ、大きな効果が期待できるリンクアップフリー。インターナビ・ルート、エコアシストを組み合わせることで、ルート案内が高精度化し、CO2削減にもいっそう貢献できます。

FIT HYBRIDのHonda HDDインターナビシステムは(専用通信機器+通信費無料\*)の「リンクアップフリー」に対応。インターナビ・プレミアムクラブの多彩な情報を、費用を気にせず必要な時に利用することができます。また、リンクアップフリーによって利用が増えるほど走行データ収集量が増加し、インターナビ交通情報

のルート案内がいっそう高精度化。そのデータを利用したインターナビ・ルートの省燃費ルートを走行するクルマの増加も見込めるなど、利用者全体で燃料消費量を抑制。エコアシストによるドライバーのエコドライブ意識の向上と合わせ、CO2削減に貢献します。

### インターナビ交通情報

通常のVICSに加えて、インターナビ・プレミアムクラブ会員からアップロードされた走行データ(フローティングカーデータ)を活用し、渋滞を考慮した精度の高い、より早く到着するルートを案内します。

- オンデマンドVICS
- インターナビ・フローティングカーシステム
- 渋滞予測情報

### インターナビ・ルート

ナビゲーション本体でルートをつくるのではなく高性能なインターナビ・サーバーでつくった「ルートそのもの」を配信することで、「より早く正確」というこれまでの魅力がさらに進化しました。

省燃費ルート  
収集した走行データと燃料消費データからつくられた「区間ごとの燃料消費量」情報を使って、「目的地までの燃料消費量が少ない」ルートを案内。



### エコアシスト

ドライバーの低燃費運転を支援するエコアシストを活用することで、運転経験(回数)とともに燃費は向上し、300回目の運転時の燃費の平均値は購入直後に比べて約10%、最大で約20%改善しました。



■2009年2月6日~2009年8月31日の間にHonda HDDインターナビシステム経由でインターナビ・プレミアムクラブのサーバーにアップロードされたインサイトユーザーの約5,000台分の燃費データを収集

### リンクアップフリーによる利用者の増加

- 走行データ収集量が増加し、ルート案内が高精度化
- 省燃費ルートを走行するクルマが増加
- エコドライブ意識の高いドライバーが増加

### リンクアップフリーを利用する多くのクルマの燃料消費量が抑えられ、CO2排出量を削減

\*「リンクアップフリー」で通信費が無料になるのは、装備された専用通信機器でのデータ通信のみ対象となります。専用通信機器以外の携帯電話等でのデータ通信やハンズフリーテレホンによる音声通話の料金は無料の対象になりません。また、本サービスの継続には、車検時にHonda販売会社で更新手続きをしていただくことが条件となります。更新手数料はHonda販売会社で車検を受けていただきます。無料になります。Honda販売会社以外で車検を受けた場合は別途更新手数料がかかります。「リンクアップフリー」はHondaが指定する通信事業者のデータ通信サービスを利用し、Hondaが利用者にインターナビシステムのデータ通信を所定の条件下で提供するものです。したがって、本サービスの提供期間および通信可能エリア等の通信品質についてはHondaはその責任を負うものではないことを予めご了承ください。

# 15X スモールであっても上質感が欲しい という声に応えます。

## 15X専用デザイン

専用パーツを施し、エクステリアにさらなる上質感を持たせました。



フロントグリルは  
クロームメッキを施した  
専用デザイン

深みのあるブラウンと  
クリスタルの輝きが上質感を  
いっそう際立たせる  
プレミアムディーブモカ・パールを新設定  
(2010年12月生産開始予定)



15インチアルミホイール  
(タイプ別メーカーオプション)

リアライセンスガーニッシュにも  
クロームメッキを採用



従来モデル X



Photo:15 X (FF)  
ボディカラーはプレミアムディーブモカ・パール

## インテリアは落ち着いた質感に仕立てました。

エアコン吹き出し口とエアコン表示部にクロームメッキ加飾を追加

ガンメタリック塗装のスイッチパネルに加え  
高輝度メタリック塗装のインナードアハンドルを採用



シートカラーは落ち着いた色合いのブラウン。  
サイド部に同色系のステッチを施したスウェード調の専用表皮を採用



Photo:15 X (FF) インテリアカラーはブラウン メーカーオプション装着車  
カットボディによる撮影 メーカー類は撮影のため点灯

## 15X専用装備

上級クラスからの乗り換えでも満足していただけるよう、快適装備を充実させました。



リッドに表皮を施した  
センターコンソールボックスを新採用



リアセンターアームレストを新採用

充実した  
上質・快適装備



クルーズコントロール



本革巻ステアリングホイール



テレスコピック&チルト\*ステアリング  
\*全タイプ標準装備



フルオート・エアコンディショナー



運転席&助手席シートヒーター



Hondaスマートキーシステム



フレキシブルラゲッジボード  
(ウルトララゲッジ)



リアシェルフ

## 走りと静粛性

1.5ℓの余裕あるトルクを活かし、静粛性と燃費に  
有利になるようにCVTの変速特性を変更しました。

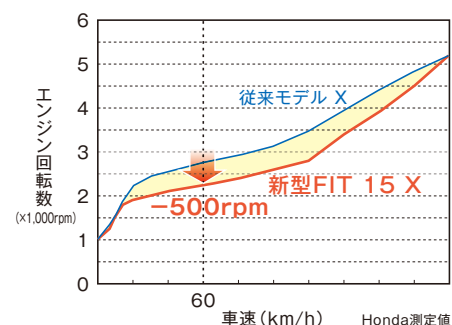
常用されるスロットル低中開度域において、CVTの変速比を全体的にハイレシオ側に変更。  
加速時のエンジン回転数を抑え静粛性を向上するとともに、燃費向上にも貢献しています。

■1.5ℓ i-VTECエンジン性能

最高出力(ネット値) 88kW[120PS]/6,600rpm	10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値) 20.0km/ℓ <sup>(FF(CVT))</sup>
最大トルク(ネット値) 145N・m[14.8kgf・m]/4,800rpm	JC08モード走行燃料消費率(国土交通省審査値) 19.0km/ℓ <sup>(FF(CVT))</sup>

「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。\*装着するメーカーオプションによっては異なる場合があります。

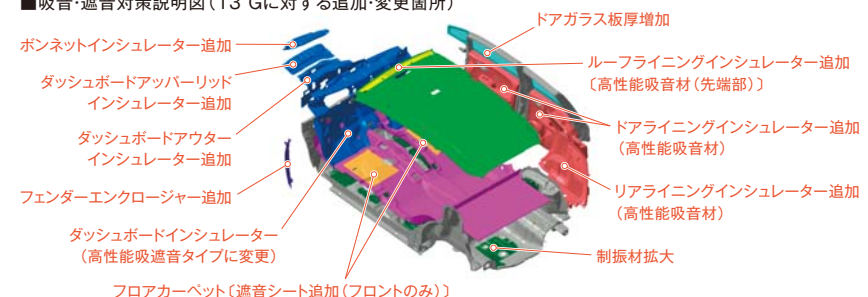
■アクセルペダル3/8開度時のエンジン回転数比較



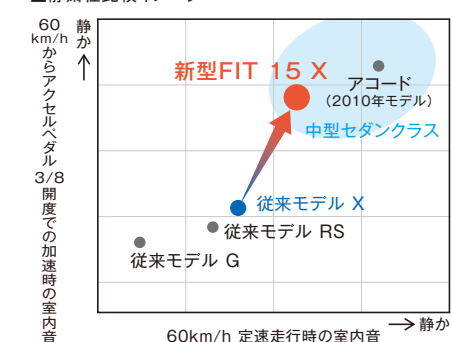
## 中型セダンの静粛性を目指し、防音処理を強化しました。

従来モデルで行っていた、ベースグレードに対する吸・遮音材の追加採用に加え、遮音シート付フロアカベットの追加採用や吸・遮音性能を高めたダッシュボードインシュレーターを採用などにより、いっそう静粛性を向上しました。

■吸音・遮音対策説明図(13 Gに対する追加・変更箇所)



■静粛性比較イメージ



# RS

## ドライビングを存分に楽しみたい人のために 走り与设计をいっそうダイナミックに磨き上げました。

### RS専用スポーティーデザイン

走りのよさがひと目でわかるように  
どこから見てもダイナミックなFITにつくり込みました。

ガンメタリック塗装のメッシュフロントグリル。  
スポーティーグレードを主張する  
RSエンブレムを装着

クリアブラック塗装  
ガーニッシュのヘッドライト

鮮やかなソリッドオレンジが  
力強さを表現する専用カラー  
サンセットオレンジIIを新設定

ガンメタリック塗装の  
専用リアライセンスガーニッシュ

専用テールゲートスポイラー

RSエンブレム

シルバー塗装に  
スモークレンズを組み合わせた  
リアコンビネーションランプ

専用エキパイ  
フィニッシャー

ダイナミックな造形の  
フロントバンパーには  
フォグライトを内蔵

ガンメタリック塗装の  
専用16インチアルミホイール

専用サイドシル  
ガーニッシュ

ダイナミックなエアロフォルム形状のリアバンパー

Photo:RS (CVT) ボディカラーはサンセットオレンジII

ドライビングの高揚感が  
いっそう増すように、細部まで  
スポーティーにこだわりました。

ダークガンメタ  
リック塗装の専用  
インテリアパネル

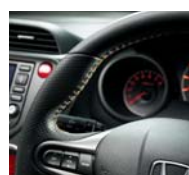
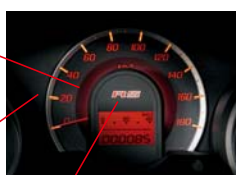
エアコン  
吹き出し口に  
クロームメッキ  
加飾を追加

アンバー照明の  
グラデーション表示

ブラック塗装の  
専用ガーニッシュ



シートカラーはブ  
ラック×オレンジ。  
表皮はサイド部に  
オレンジステッチ  
を施したスウェー  
ド調ファブリック、  
センター部には上  
質な、起毛メッシュ  
ファブリックを採用



RSエンブレム

オレンジステッチを施した、スポーティーな  
形状の専用本革巻ステアリングホイール&  
本革巻シフトノブ

メタル製  
スポーツペダル

Photo:RS (CVT)

Photo:RS (GMT) インテリアカラーはブラック×オレンジ メーカーオプション装着車 メーカー撮影のため点灯 画面はハメコミ合成

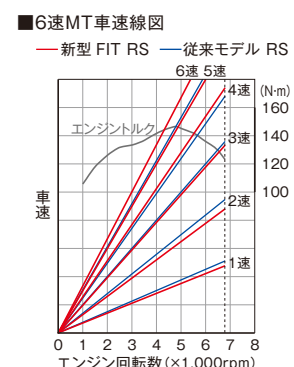


従来モデル RS

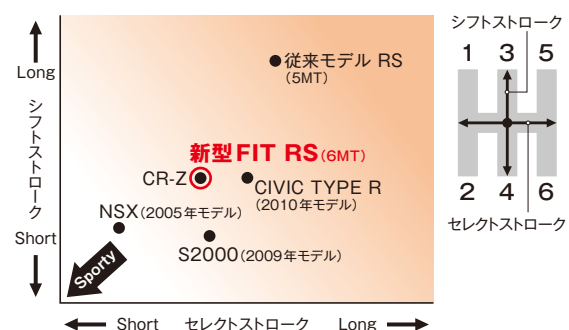
### ダイナミックな走り

120PSの高出力を存分に味わえるように、クラス唯一の6速MTを新採用しました。

従来モデルRSの5速MTに対して1~3速をローレシオ化。スロットル開度を大きめに制御するDBW設定と合わせ、加速性能を向上しました。6速は従来の5速よりも約8%ハイレシオ設定とすることで高速クルーズ時の燃費性能と静粛性を高めています。また、シフトストロークを55mmからCR-Zと同じ45mmに短縮したほか、シフトノブの重さにまでこだわること、スポーティーな運転を楽しめるクイックな操作感を実現しています。



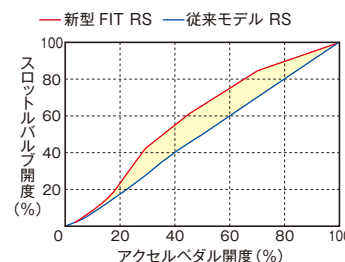
■チェンジストローク比較イメージ



CVT車も、より力強い加速感を得るために、エンジンのDBW設定を見直しました。

アクセルペダル踏み込み量に対するスロットルバルブ開度が従来モデルRSよりも大きくなるよう、DBW設定を変更。変速比もローレシオ側に設定したことで、ハイレスポンスでスポーティーな運転を楽しめます。また、Sポジションではアクセルペダルを一定以上踏み込んだ際には従来同様、変速比をローレシオ側に制御。アクセルペダルの踏み込み量が少ない場合のみハイレシオ側に変更したことで、クルーズ時にはエンジン回転数が抑えられ、街乗りでも使いやすくしています。

■DBW設定比較



■1.5ℓ i-VTECエンジン性能

最高出力(ネット値)  
88kW[120PS]/6,600rpm

最大トルク(ネット値)  
145N・m[14.8kgf・m]/4,800rpm

10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)  
19.2km/ℓ(CVT)

JCO8モード走行燃料消費率(国土交通省審査値)  
18.4km/ℓ(CVT)

「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。

スポーティーグレードならではのコーナリング性能を得るために、サスペンションを強化しました。

フロント、リアともにスタビライザーを従来モデルRSに対して大径化し、ダンパーとスプリングも専用セッティング。さらにボディにおいても、フロントサイドフレームの左右をつなぐパフォーマンスロッドを追加。リアサスペンション取り付け部も強化しました。これらにより、剛性感のあるロールフィールを獲得し、スポーティーグレードにふさわしい操縦安定性を実現しています。

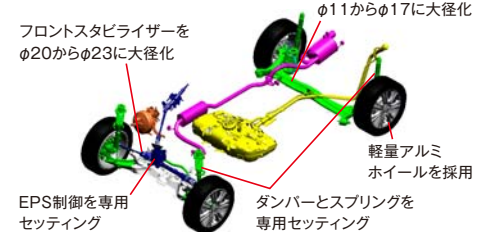
操る楽しさに直結するハンドリングにこだわり  
EPS制御を専用セッティングとしました。

サスペンションの強化により安定性を高め、EPS制御をスポーティーな特性に専用セッティング。従来モデルRSに対して直進時のしっかり感、転舵時のリニアな応答性と軽快感を高め、一体感のあるスポーティーなハンドリング特性を獲得しています。

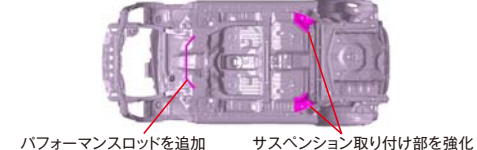
スポーティーであるためにはサウンドも重要だと考え、加速時のエンジン音と排気音をチューニングしました。

サイレンサーにレゾネーターを設置し、低音成分を強調。発進時の排気音を迫力あるものにしました。また、エンジンマウントの特性を調整し、中~高回転域でのすっきりとしたエンジン音を実現しています。

■シャシー強化説明図



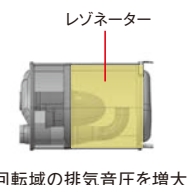
■ボディ強化説明図



■サウンドチューニング説明図 (エンジンマウント)



(サイレンサー)



共振固有値をより高い周波数にセッティング

低回転域の排気音圧を増大

# 高水準の安全性能・環境性能。

## 安全性能



### コンパティビリティ対応構造を採用した高効率エネルギー吸収ボディ。

リアルワールドでの衝突安全を見据えたHonda独自のGコントロール技術により、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立したコンパティビリティ対応ボディ。前方向からの衝撃に対し、ロアメンバーが相手車両の衝撃吸収部材とのすれ違いを防ぐとともに、衝撃をより広い面で受け止めることで、極めて高効率な衝突エネルギー吸収を実現し、キャビンへの負荷を大幅に低減しています。さらに、メインフレームから入力した衝突エネルギーを非衝突側のフロアフレームにも分散させる構造を採用。また、ハイテン材（高張力鋼板）をボディ骨格の適所に採用するなど、全方位からの衝突に対してエネルギー吸収効率の高い構造を実現しています。

### 頭部や脚部などに対する衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディ。

万一の際、歩行者にダメージを与えやすいボディ前部に、衝撃をやわらげる構造を採用。ボンネット、ボンネットヒンジ部、フェンダー、ワイパー、バンパーを、衝撃吸収構造としています。

### 運転へのゆとりと、移動の安心をもたらす安全装備の数々。

#### 【アクティブセーフティ】

- VSA（車両挙動安定化制御システム）（タイプ別設定）
- EBD付ABS
- ディスチャージヘッドライト（HID）（ハイ/ロービーム、オートレベリング/オートライトコントロール機構付）（タイプ別設定）

#### 【パッシブセーフティ】

- 運転席用&助手席用SRSエアバッグシステム
- 前席用i-サイドエアバッグシステム（助手席乗員姿勢検知機能付）+サイドカーテンエアバッグシステム（前席/後席対応）（タイプ別メーカーオプション）
- 頭部衝撃緩和フロントシート ●頭部衝撃保護インテリア
- フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルト
- リア3点式ELRシートベルト（中央座席は2点式マニュアル）
- 汎用型ISOFIXチャイルドシートロアアンカレッジ（リア左右席）+トップテザーアンカレッジ（リア左右席）

## 環境性能

### 全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定を取得。



「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車表示マーク  
平成17年排出ガス規制のNMHC、NOxについて基準値を75%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。

### 「平成22年度燃費基準+25%」を達成。

13 G/13 L (FF (CVT)), 15 X (FF), HYBRID



「平成22年度燃費基準+25%達成車」表示マーク  
平成22年度燃費基準を25%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。13 G/13 L (FF (CVT)), 15 X (FF), HYBRID



「平成22年度燃費基準+20%達成車」表示マーク  
平成22年度燃費基準を20%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。RS (CVT)



「平成22年度燃費基準+15%達成車」表示マーク  
平成22年度燃費基準を15%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。13 G (FF (5MT))



「平成22年度燃費基準+5%達成車」表示マーク  
平成22年度燃費基準を5%以上上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。13 G/13 L (4WD), RS (6MT)



「平成22年度燃費基準達成車」表示マーク  
平成22年度燃費基準を上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。15 X (4WD)

### クルマ全体でリサイクル可能率90%以上\*を実現。

\*（新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン（1998年 自工会））に基づき算出。

### リサイクル材の使用を推進。

### 日本自動車工業会の定める環境負荷4物質自主削減目標を達成。

鉛：2006年1月以降1996年レベルの1/10以下に削減  
水銀：2005年1月以降使用全廃  
六価クロム：2008年1月以降使用全廃  
カドミウム：2007年1月以降使用全廃

## 福祉車両

### 助手席回転シートを設定。

（13 G、13 G-スマート セレクション、13 Lに設定 ※SMT車を除く）

- レバー操作で簡単に助手席を外側に回転
- 乗り降りしやすく、座り心地も快適な専用シート
- つま先がドアにあたりにくい、ゆとりの足もとスペース



シートが回転して乗降をサポートします  
助手席回転シート車

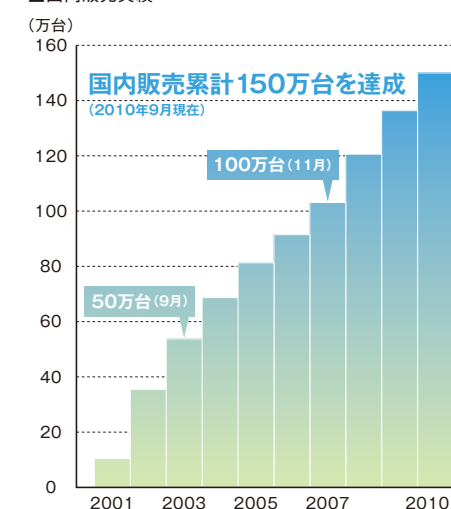


Photo: 13 G (FF (CVT))  
ボディカラーはミラノレッド インテリアカラーはベージュ

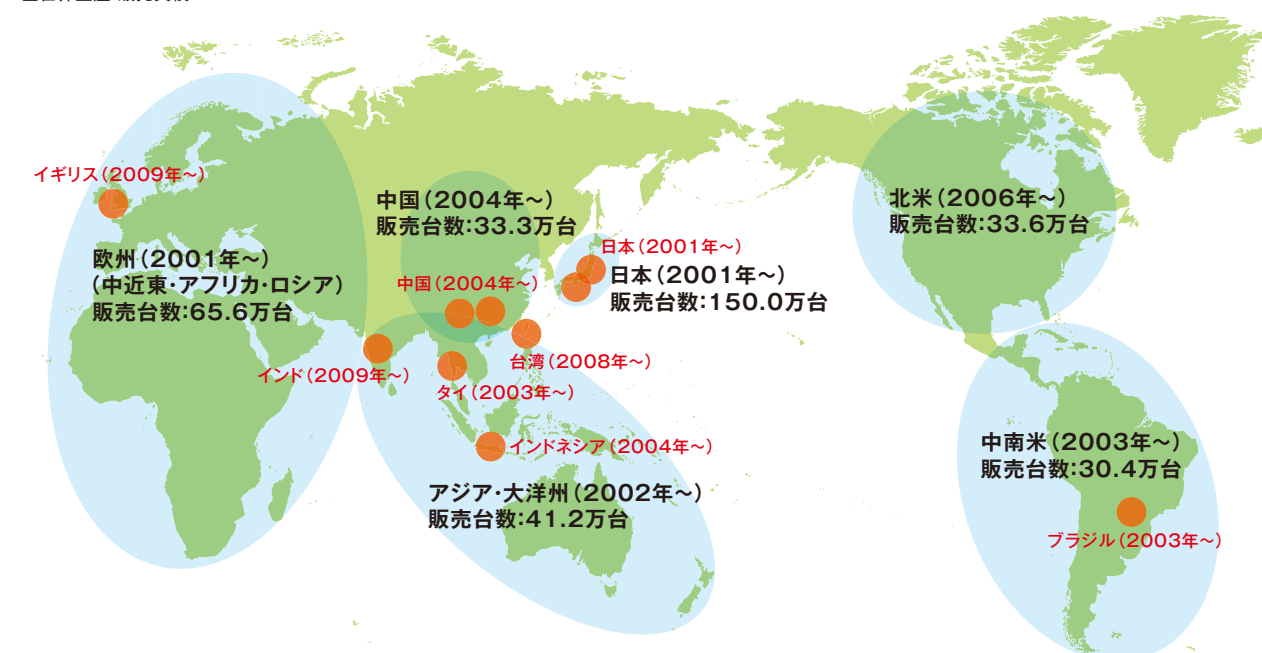
# FITは、国内販売累計150万台をHonda最速で達成。 世界実績では生産10拠点、販売累計350万台以上に成長しています。

FITは初代モデルが誕生して以来、世界中の多くの人から支持されてきました。国内においては2010年9月に、発売から9年3ヶ月にして販売累計台数150万台を達成。シビックシリーズの15年を大きく上回る、Honda車では最速の実績となりました。一方海外では、初代誕生の2001年より、コンパクトクラスの本場といわれる欧州においても販売をスタート。以降も、アジア、中南米、中国、北米へと地域を広げ、2010年7月までに約115カ国で累計350万台以上が販売されています。また、海外での現地生産も積極的に展開。2003年にブラジル、タイ、翌年には中国、インドネシアへと年を重ねるごとにアジア圏や欧州にも拠点を広げ、2010年7月現在、日本を含む8つの国と地域・10拠点で生産され世界の各地域にデリバリーされています。Hondaは今後も、FITをもっともベーシックなグローバルカーにとらえ、いつの時代でも人々の暮らしを見据えた理想のスモールカーであるために、進化を続けていきます。（海外での車名はFITおよびJAZZ）

■国内販売実績



■世界生産・販売実績



●生産拠点: 8つの国と地域・10拠点 (2010年7月現在)

●販売地域および累計台数: 6地域・約115カ国/世界販売累計354.1万台 (日本2010年9月実績と海外2010年7月実績の合算)

主要装備

● は標準装備 ○ はメーカーオプション

Table with columns for engine type (1.3L, 1.5L, 1.3L+IMA), drive type (FF, 4WD), and transmission (5MT, CVT, 5AT, 6MT). Rows include safety features like ABS, airbags, and interior options like sunroof and navigation.

● は標準装備 ○ はメーカーオプション

Table with columns for engine type (1.3L, 1.5L, 1.3L+IMA), drive type (FF, 4WD), and transmission (5MT, CVT, 5AT, 6MT). Rows include safety features like ABS, airbags, and interior options like sunroof and navigation.

\*1 「前席用i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム」を装着した場合、「グラブレード(運転席側/リア左右)」「コートフック(リア右側)」が装着されます。 \*2 「運転席&助手席シートヒーター」装備車に「前席用i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム」を装着した場合、サイドエアバッグシステムのセンサーが装着されるため、助手席の背もたれにヒーター機能はありません。 \*3 「VSA」を装着した場合、「リアディスクブレーキ」、「15インチスチールホイール+スチールラジアルタイヤ(175/65R15 84S)」「15インチスチールホイール用フルホイールキャップ」になります。 \*4 「VSA」を装着した場合、「リアディスクブレーキ」になります。 \*5 「Hondaスマートキーシステム」を装着した場合、「電波式キーレスエントリーシステム」の機能は「Hondaスマートキーシステム」に統合されます。また、「キーレスエントリー 一体型キー1個」は「Hondaスマートキー1個」に代わります。 \*6 「スカイルーフ」を装着した場合、「グラブレード(運転席側/リア左右)」「コートフック(リア右側)」が装着されます。 \*7 「スカイルーフ」を装着した場合、「15インチスチールホイール+スチールラジアルタイヤ(175/65R15 84S)」「15インチスチールホイール用フルホイールキャップ」になり、「リアスタビライザー」が装着されます。 \*8 スピーカー数は標準装備の「フロント2スピーカー」との合計数となります。 \*9 「Honda HDD インターナビシステム」を装着した場合、「マイクロアンテナ」の形状が変更されます。 \*10 「14インチスチールホイール用フルホイールキャップ」と「15インチスチールホイール用フルホイールキャップ」はデザインが異なります。

■ メーカーオプションは組み合わせによっては同時装着できない場合がございます。また、他のメーカーオプションとセット装着になる場合がございます。

■ 仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

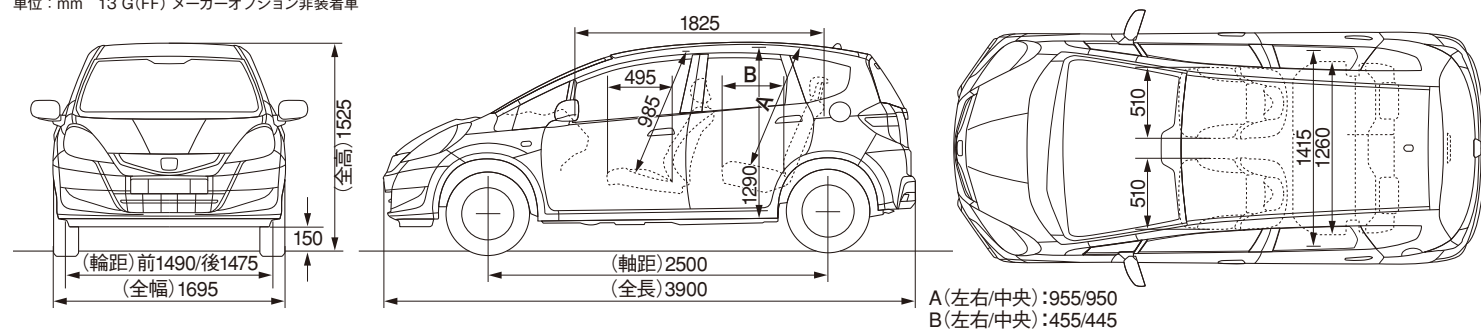
# 主要諸元

タイプ	1.3ℓ i-VTEC				1.5ℓ i-VTEC				1.3ℓ i-VTEC+IMA	
	G / G-スマート セレクション		L		X		RS		HYBRID / HYBRID-スマート セレクション / HYBRID-ナビプレミアムセレクション	
駆動方式	FF		4WD		FF		4WD		FF	
車名・型式	ホンダ・DBA-GE6★	ホンダ・DBA-GE6☆	ホンダ・DBA-GE7	ホンダ・DBA-GE7☆	ホンダ・DBA-GE8☆	ホンダ・DBA-GE9	ホンダ・DBA-GE8	ホンダ・DBA-GE8★	ホンダ・DAA-GP1☆	
トランスミッション	5速マニュアル		無段変速オートマチック (トルクコンバーター付) 電子制御 5速オートマチック		無段変速オートマチック (トルクコンバーター付) 電子制御 5速オートマチック		無段変速オートマチック (トルクコンバーター付) 電子制御 5速オートマチック		無段変速オートマチック (ホンダマルチマチック) <sup>※1</sup>	
寸法・重量	全長(m) 全幅(m) 全高(m) ホールベース(m) トレッド(m) 前 後				3,900 1,695 1,525 1,525 1,550 1,525 1,490 1,475 1,475 1,460				3,900 1,525 1,490 1,475	
乗車定員	最低地上高(m) 車両重量(kg) 最大車両重量(kg) <sup>※2</sup>		0.150 990 1,010 1,140 1,030 1,140 1,080 1,170 1,050 1,080 1,130		0.145 990 1,070(1,040) <sup>1</sup> 1,160(1,150) <sup>1</sup> 1,030 1,140 1,100 1,180 1,060 1,080 1,140(1,150) <sup>2</sup> (1,150) <sup>3</sup>		0.145 990 1,070(1,040) <sup>1</sup> 1,160(1,150) <sup>1</sup> 1,030 1,140 1,100 1,180 1,060 1,080 1,140(1,150) <sup>2</sup> (1,150) <sup>3</sup>		0.150 990 1,070(1,040) <sup>1</sup> 1,160(1,150) <sup>1</sup> 1,030 1,140 1,100 1,180 1,060 1,080 1,140(1,150) <sup>2</sup> (1,150) <sup>3</sup>	
原動機	エンジン		L13A		L15A		L15A		LDA-MF6 LDA	
性能	最高出力(kW[PS]/rpm) <sup>*</sup> 最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm) <sup>*</sup>		73[100]/6,000 73[99]/6,000 73[100]/6,000 73[99]/6,000 73[100]/6,000		88[120]/6,600 65[88]/5,800 121[12.3]/4,500 10[14]/1,500 78[8.0]/1,000 <sup>※3</sup>		127[13.0]/4,800 126[12.8]/4,800 127[13.0]/4,800 126[12.8]/4,800 127[13.0]/4,800		145[14.8]/4,800	
向上対策	燃料消費率 10-15モード走行(国土交通省審査値) (km/ℓ) JC08モード走行(国土交通省審査値)		21.0 19.2 24.5(22.0) <sup>4</sup> 20.6 17.2 16.0 22.0 20.6 17.2 16.0 20.0 19.0(18.6) <sup>5</sup> 16.4 15.2 17.4 16.2 19.2 18.4 30.0 26.0		21.0 19.2 24.5(22.0) <sup>4</sup> 20.6 17.2 16.0 22.0 20.6 17.2 16.0 20.0 19.0(18.6) <sup>5</sup> 16.4 15.2 17.4 16.2 19.2 18.4 30.0 26.0		21.0 19.2 24.5(22.0) <sup>4</sup> 20.6 17.2 16.0 22.0 20.6 17.2 16.0 20.0 19.0(18.6) <sup>5</sup> 16.4 15.2 17.4 16.2 19.2 18.4 30.0 26.0		21.0 19.2 24.5(22.0) <sup>4</sup> 20.6 17.2 16.0 22.0 20.6 17.2 16.0 20.0 19.0(18.6) <sup>5</sup> 16.4 15.2 17.4 16.2 19.2 18.4 30.0 26.0	

〈 〉内はG-スマート セレクション。〈 〉内はHYBRID-スマート セレクション。〈 〉内はHYBRID-ナビプレミアムセレクション。〈 〉内はメーカーオプションのi-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム装着車、VSA装着車、スカイルーフ装着車。〈 〉内はメーカーオプションのi-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム装着車、スカイルーフ装着車。〈 〉内はメーカーオプションのスカイルーフ装着車。 ※1 HYBRID-ナビプレミアムセレクションは、無段変速オートマチック(ホンダマルチマチックS) [7スピードモード付] +パドルシフトとなります。 ※2 メーカーオプションを組み合わせて装着した場合の最大車両重量です。 ※3 エンジン始動時:92N・m [9.4kgf・m] / 500rpm ※4 メーカーオプションのスカイルーフ装着車は175/65R15 84Sとなります。 ※5 メーカーオプションのVSA装着車は175/65R15 84Sとなります。 ※6 メーカーオプションのVSA装着車の場合は、油圧式ディスクになります。 ※7 メーカーオプションのスカイルーフ装着車にはスタビライザー後(トーション・バー式)が装着されます。 ※8 メーカーオプションのVSA装着車にはスタビライザー後(トーション・バー式)が装着されます。 ※はネット値です。「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とはほぼ同条件で測定したものです。 ■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。なお、JC08モード走行は10-15モード走行に比べ、より実際の走行に近くなるよう新たに設けられた試験方法で、一般的に燃料消費率はや低い値になります。 ☆、★印の車両は優遇税制の対象となります。ご購入時に自動車取得税・重量税の優遇が受けられます(自動車取得税は2012年3月31日まで、重量税は2012年4月30日まで)。☆印の車両は、ご購入の翌年度の自動車税について軽減措置が受けられます(2012年3月31日までの新車登録車対象)。 ■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。 ■FIT、アレルフリー、エコアシスト、G-CON、ホンダマルチマチック、IMA、INTER NAVI SYSTEM、PGM-FI、ULTR SEAT(ウルトラシート)、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の登録商標です。 ■iPod、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。 ■Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。 ■VICIS(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。 ■製造事業者:本田技研工業株式会社

# 三面図

単位: mm 13 G(FF) メーカーオプション非装着車



# 環境仕様

基礎情報	車両型式	エンジン	型式	総排気量 (cm <sup>3</sup> )	駆動方式	DAA-GP1 LDA-MF6		DBA-GE6 L13A		DBA-GE7		DBA-GE8 L15A		DBA-GE9
						1,339		CVT		4WD		CVT		4WD
燃料消費率	10-15モード	燃費 (km/ℓ)	30.0		24.5		22.0		20.0		19.2		17.4	
			CO <sub>2</sub> 排出量 (g/km) (燃費からの換算値)		77.4		94.8		105.5		116.1		120.9	
排出ガス	適合規制・認定レベル	JC08モード	26.0		20.6		19.2		19.0		18.6		16.2	
			CO <sub>2</sub> 排出量 (g/km) (燃費からの換算値)		89.3		112.7		120.9		122.2		124.8	
環境性能情報	排出ガス	適合規制・認定レベル	CO		NMHC		NOx		平成22年度燃費基準 +25%達成車		平成22年度燃費基準 +5%達成車		平成22年度燃費基準 +20%達成車	
			参考		参考		参考		参考		参考		参考	
環境性能情報	適合騒音規制レベル	エアコン冷媒使用量	平成17年排出ガス基準75%低減		平成10年騒音規制 規制値: 加速走行76dB(A)		種類: 代替フロン134a 使用量: 420g		自工会目標達成(1996年使用量 <sup>1</sup> の1/10)		自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止 <sup>2</sup> )		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
			八都府県低公害車指定制度およびLEV-7*(等)の排出ガス基準をクリアしています。 *LEV-7:京阪神7府県市指定低排出ガス車		自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)		自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
環境性能情報	リサイクル	リサイクルし易い材料 <sup>3</sup> を使用した部品	樹脂、ゴム部品への材料表示		樹脂、ゴム部品に可能な限り全て		ウインドウモールド類、バンパーフェースなどの内外装部品		アンダーカバー、スプラッシュガード、スプラッシュシールド、バンパーサイドスケーパー、バッテリーカバー、バッテリーボックス、吸音材		再生材を使用している部品		車全体で90%以上 <sup>4</sup>	
			リサイクル可能率		リサイクル可能率		リサイクル可能率		リサイクル可能率		リサイクル可能率		リサイクル可能率	
環境性能情報	その他	リサイクル	クリーン購入法適合状況		クリーン購入法適合状況		クリーン購入法適合状況		クリーン購入法適合状況		クリーン購入法適合状況		クリーン購入法適合状況	
			外装モールドなどの廃止によりASR <sup>5</sup> 中塩素濃度1%以下レベル		外装モールドなどの廃止によりASR <sup>5</sup> 中塩素濃度1%以下レベル		外装モールドなどの廃止によりASR <sup>5</sup> 中塩素濃度1%以下レベル		外装モールドなどの廃止によりASR <sup>5</sup> 中塩素濃度1%以下レベル		外装モールドなどの廃止によりASR <sup>5</sup> 中塩素濃度1%以下レベル		外装モールドなどの廃止によりASR <sup>5</sup> 中塩素濃度1%以下レベル	

\*1 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。 \*2 交通安全上必須な部品の極微量使用を除く。 \*3 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの無可塑性プラスチック。 \*4 「新製車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。 \*5 Automobile Shredder Residue ※この環境仕様書は2010年10月現在のものです。 ■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。なお、JC08モード走行は10-15モード走行に比べ、より実際の走行に近くなるよう新たに設けられた試験方法で、一般的に燃料消費率はや低い値になります。

